



西中学校だより

令和6年4月8日
東久留米市立西中学校

「入学・進級おめでとうございます」

校長 小川 高弘

例年より遅く桜が満開を迎え、久し振りに始業式に桜の花を見ることができました。4月8日に始業式、9日に入学式を行い、令和6年度の東久留米市立西中学校の教育活動が始まります。132名の新入生を迎え、全校生徒465名でのスタートです。西中学校は、下記の教育目標のもと、教育活動を進めてまいります。

「賢く 優しく 遅しく 一年 自主 二年 自律 三年 自治」

生徒は、中学校を卒業すると、生活環境が一変します。それは、上級学校への進学だけではありません。東久留米に住み続ける生徒もいれば、居住地を変える生徒もいます。立場や環境などが変わり、全員が今とは違う新しい社会へ出ていくことになります。「中学生」という立場に守られた生活から、先の見通しがもちにくい新しい社会を生き抜くための準備をしていくのが、中学校の3年間になります。西中学校では、中学校生活の3年間を「よき社会人」となるべく準備期間であると捉えています。「よき社会人」とは、個人の夢や希望を追い求めつつ、社会に貢献する人だと考えます。中学校という集団の中で生活することを通して、個人の資質・能力を最大限に伸ばすことが「よき社会人」の育成につながると考えています。教育目標を達成し、「よき社会人」として送り出すために、以下に示す教育ビジョンを見据えて、教職員一同、力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

【目指す学校像】

- (1) 自治力のある集団、正義の通る集団としての学校
- (2) すべての生徒が心の居場所をもつ学校
- (3) 学習の基礎・基本を確実に身に付け、主体的に学ぶ力を培う学校
- (4) 学校・家庭・地域社会が共に協力をし、生徒を育てる学校

【目指す生徒像】

- (1) 知性のある「賢い生徒」
- (2) 思いやりのある「優しい生徒」
- (3) 心身共に健康な「遅しい生徒」

【目指す教師像】

- (1) 「よき社会人」の育成に尽力する教師
- (2) 本校の課題を理解しその解決のために組織の一員として努力する教師
- (3) 生徒理解力や授業力等の教師としての資質・能力の向上を常に目指す教師